



初等部だより 6月号

鎌倉女子大学初等部

平成30年5月30日

第3号

初等部 修学旅行

部長代理 勝木 茂

岩瀬キャンパスの木々の緑も映え、季節はさわやかな初夏の頃となりました。青空のもと、休み時間にはグラウンドで遊ぶ子どもたちも、これまでよりふえてきたように感じます。また、6月9日(土)に行われる初等部運動会に向けての取組みもはじまり、子どもたちの元気な声が日々職員室まで届いています。

さて、5月16日(水)から18日(金)、二泊三日の日程で初等部6年生は修学旅行に行ってきました。

一日目：8時30分大船駅笠間口に全員集合→東海道線で小田原→東海道新幹線に乗り換え、車中で早めの昼食(お弁当)をとり名古屋で降りました。ここから先は観光バス二台での移動となります。まずは名古屋城を見学→バスで移動し「瀬戸焼」を体験しました。一人一人がろくろを回しながらの作品づくり、作品は焼き上がってから初等部に送られてきます。→バスで長良川沿いのホテルに移動、幻想的な「鵜飼い」を生で見学し就寝となりました。



二日目：ホテルを後に、車中から犬山城を見ながら「博物館明治村」へ、グループごとに村内探偵ラリーを楽しんで昼食。→バスで美濃市へ移動し「美濃和紙の里会館」へ、世界文化遺産である和紙づくりの奥深さに触れ、一人一人が紙漉きを体験→「うだつの上がる町並み」をボランティアさんの案内で見学しました。→郡上八幡へ移動し、家族へのおみやげを買ってから二泊目のホテルへ。夕食後、約一時間の「郡上踊り」を体験し、その日は熟睡でした。

三日目：バスは北上し、世界遺産「白川郷・合掌造りの集落」へ、地元のガイドさんの案内で重要文化財の住宅を見学しました。その後、バスで新高岡まで移動、お世話になったバスガイドさんや運転士さんにお礼を伝え、北陸新幹線に乗り、東京へ→成田エクスプレスに乗り換え、夕方、大船駅で解散しました。

初等部修学旅行をこの行程に変更し、今年で三年目となります。実施にあたり、前々日に、わたしから「自分が(は)楽しい」ではなく「自分もみんなも楽しい」ということを意識した修学旅行になるよう講話を行いました。「みんな」とは、先ずは自分以外の学級や学年の友だちのことです。でもそこに止まらず、新幹線内の他の乗客、ホテルでの他の宿泊客、見学先での他の観光客等、いわゆる公共ということ意識するということです。

日常の初等部での生活とは違う環境のもと、見聞を広げ、自然や文化などに親しみ、集団活動・集団生活を通して、他を意識し折り合いをつけ、互いを思いやり共に協力し合い、公衆道徳などの望ましい体験を積む実践的な学習場面が修学旅行であるととらえています。(※下線部、文部科学省小学校学習指導要領解説特別活動編より一部引用)

わたしも二泊三日寝食を共にする中で、子どもたちとの信頼関係がこれまでより深まったと感じています。「自分もみんなも楽しい」は「自分が(は)楽しい」よりも質の高い「楽しさ」です。このことを体験を通して感じた6年生は多かったと感じています。修学旅行後、廊下などで会ったときに、自らわたしに声をかけてくる6年生も増えてきました。嬉しい限りです。

さあ次は、6月9日(土)に実施予定の運動会です。6年生がリーダーシップを発揮し「自分もみんなも楽しい初等部運動会」を実現させてほしいと願っています。

※修学旅行については、初等部ホームページにも掲載してあります。ご覧いただければ幸いです。